



(公財)水道技術研究センター  
〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-28  
K. I. S 飯田橋ビル 7F  
TEL 03-5805-0264, FAX 03-5805-0265  
E-mail [jwrchot@jwrc-net.or.jp](mailto:jwrchot@jwrc-net.or.jp)  
URL <https://www.jwrc-net.or.jp>

## 水道技術研究センターが実施してきた 産官学共同研究等の愛称とその由来について

公益財団法人水道技術研究センター(平成24年4月1日公益財団法人に移行)は、前身の社団法人水道浄水プロセス協会(平成3年8月1日設立)、財団法人水道管路技術センター(昭和63年3月25日設立)及び財団法人水道技術研究センター(平成8年9月2日設立)を含め、平成の時代から現在に至るまで、多くの産官学共同研究を実施してきました。また、そのそれぞれの産官学共同研究ごとに、研究テーマや取組み内容に沿って、思いを込めた愛称をつけてきました。

水道ホットニュース第917号(令和6年11月1日配信)にて、各プロジェクトの愛称とその由来をお知らせいたしましたが、新規のプロジェクトも追加して、改めて取りまとめをいたしました。

### 【新規プロジェクト】

- ・第2期水道施設の新たな点検手法等に関する研究

愛称 **Aqua-BridgeII**  
(**Aqua - Breakthrough Inspection Technology Designed for Great Effectiveness II**)

事業目的 ICT等新技術を活用した水道施設の点検方法等について、その手法の実用性、課題点の検証を行うとともに、必要に応じて可能な範囲で水道施設での実験を実施する。

事業期間 令和6~8年度

- ・水道管路劣化判断手法に関する研究

愛称 **Aqua-Format**  
(**Aqua -For Optimal and Real Management of Asset**)

事業目的 水道事業者が行っている管路の劣化診断の手法を調査し、劣化診断・判定方法に関する標準・共通フォーマットを検討する。

事業期間 令和7年度

## 1. 産官学共同研究(浄水技術分野)

年度	プロジェクトの愛称	読み方	プロジェクト名及び愛称の由来
平成 3 – 平成 5	<b>MAC21</b>	マック にじゅういち	膜利用型新浄水システム開発研究 (Membrane Aqua Century 21)
平成 6 – 平成 8	高度処理 <b>MAC21</b>	こうどしょり マック にじゅういち	膜利用型新高度浄水技術開発研究 (高度処理 Membrane Aqua Century 21)
平成 9 – 平成 13	<b>ACT21</b>	アクト にじゅういち	高効率浄水技術開発研究 (Advanced Aqua Clean Technology for 21 <sup>st</sup> Century)
平成 14 – 平成 16	<b>e-Water</b>	イーウォーター	環境影響低減化浄水技術開発研究 (Environmental, Ecological, Energy saving and Economical Water Purification System)
平成 17 – 平成 19	<b>e-WaterII</b>	イーウォーター ツー	安全でおいしい水を目指した高度な浄水処理技術の確立に関する研究 (e-Water の後継プロジェクト)
平成 20 – 平成 23	<b>Aqua10</b>	アクアテン	健康リスク低減のための新たな浄水プロセスの開発に関する研究 (ラテン語で水を表す Aqua と研究目標年度 2010 年を組み合わせた)
平成 24 – 平成 26	<b>J-Step</b>	ジェイステップ	しなやかな浄水システムの構築に関する研究 (日本の水道(J)を、しなやか(S)で耐久性(T)があり、エコ(E)なシステムにステップアップするプロジェクト(P))
平成 27・10 – 平成 30・9	<b>A-Batons</b>	エーバトン	変化に対応した浄水技術の構築に関する研究 (Aqua-Best Available Technology on New System(to Next Generation))
平成 30・10 – 令和 3・9	<b>A-Dreams</b>	エードリームス	多様な社会・技術に適応した浄水システムに関する研究 (Aqua - Desirable, Reliable, Enhanced and Advanced Management System)
令和 3.10 – 令和 6・9	<b>A-MODELS</b>	エーモデル	水道の基盤強化に資する浄水システムの更新・再構築に関する研究 (Aqua-Modernly and Optimally Designed, Efficient and Leading System)
令和 6.10 – 令和 9.3	<b>A-NEWWORK</b>	ニューワーク	浄水分野における新たな維持管理技術及び運営手法に関する研究 (Aqua - New and Efficient Water treatment Works Operation and Relating Knowledge)

## 2. 産官学共同研究(管路技術分野)

年度	プロジェクトの愛称	読み方	プロジェクト名及び愛称の由来
平成 14 – 平成 16	<i>Epoch</i>	エポック	水資源の有効利用に資するシステムの構築に関する研究 (Effective water use in Pipeline Operation Considering High quality)
平成 17 – 平成 19	<i>New Epoch</i>	ニューエポック	管路施設の機能診断・評価に関する研究 (New Evaluation and diagnosis of Pipeline functions by Observing pipe Characteristics)
平成 20 – 平成 22	<i>e-Pipe</i>	イーパイプ	持続可能な水道サービスのための管路技術に関する研究 (enhancement of Pipe renewal)
平成 23 – 平成 25	<i>Pipe Stars</i>	パイプスターズ	次世代の水道管路に関する研究 (Pipelines for Stable and Reliable Water System)
平成 26 – 平成 28	<i>Rainbows</i>	レインボウズ	将来の不確実性に対応した水道管路システムの再構築に関する研究 (Reliable, Advanced and Innovative Network for Building Optimum Water System)
平成 29 – 令和元	<i>Pipe Σ</i>	パイプシグマ	人口減少社会における水道管路システムの再構築及び管理向上策に関する研究 (水道界全員の英知により、管路再構築と維持管理手法の確立を成し遂げる」という想いから総和を意味する「シグマ」を引用し、英知の総和を図ることで実りあるプロジェクト成果を収める願いを込めて、「Pipe Σ(パイプシグマ)」とした。)
令和 2 – 令和 4	<i>New Pipes</i>	ニューパイプス	水道の基盤強化に資する管路の構築及び情報活用に関する研究 (New Era in Water Pipeline Infrastructure Promotion, Enhancement and Strength)
令和 5 – 令和 7	<i>STAMPS</i>	スタンプス	強靭で高度な水道管路システムに関する研究 (Study of Tough and Advanced Management for Water Pipeline System)

### 3. その他の研究等

年度	プロジェクトの愛称	読み方	プロジェクト名及び愛称の由来
平成 28－	<i>A-IDEA</i>	エーアイデア	公募型実証研究 (Aqua- Innovation, Demonstration, Evaluation & Application)
平成 29－ 令和 4	<i>A-Smart</i>	エースマート	A-Smart プロジェクト (Aqua –Sustainable, Manageable and Reliable Technology)
令和元－ 令和 2	<b>UV-ACE</b>	ユーブイエース	紫外線水処理技術適用拡大プロジェクト (Ultraviolet Application, Combination and Extension)
令和 4－ 令和 5	第 2 期 <b>UV-ACE</b>	だい2き ユーブイエース	第 2 期紫外線水処理技術適用拡大プロジェクト (Ultraviolet Application, Combination and Extension)
令和 2－ 令和 3	<i>A-MARINE</i>	エーマリン	海底送・配水管の維持管理・更新に関する研究 (Aqua - Marine Reliable Infra Network)
令和 3－	<i>Aqua-LIST</i>	アクアリスト	水道施設の点検を含む維持・修繕に関する新技術事例集 (Aqua - Leading, Innovative and Sustainable Technology)
令和 4－ 令和 5	<i>Aqua-Bridge</i>	アクアブリッジ	水道施設の新たな点検手法等に関する研究 (Aqua - Breakthrough Inspection Technology Designed for Great Effectiveness)
令和 5－ 令和 6	<i>Aqua-TANK</i>	アクアタンク	矩形地上水槽(鋼製)の耐震設計に関する研究 (Aqua – Technical Assessments by New Knowledge)
令和 5－ 令和 7	<i>New-Smart</i>	ニュースマート	New-Smart プロジェクト (Next Era for Water – Sustainable, Manageable and Reliable Technology)
令和 6－ 令和 8	<i>Aqua-PFAS</i>	アクアピーファス	浄水処理における PFAS の除去等に関する研究 (Aqua - Practical, Feasible and Advanced Systems)
令和 6－ 令和 8	<i>Aqua-Bridge</i> Ⅱ	アクアブリッジツー	第2期水道施設の新たな点検手法等に関する研究 (Aqua - Breakthrough Inspection Technology Designed for Great Effectiveness Ⅱ)
令和 7	<i>Aqua-Format</i>	アクアフォーマット	水道管路劣化判断手法に関する研究 (Aqua -For Optimal and Real Management of Asset)

#### 配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までE-メールにてご連絡をお願いいたします。〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-28 K.I.S飯田橋ビル7F (公財)水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL:[jwrchot@jwrc-net.or.jp](mailto:jwrchot@jwrc-net.or.jp)

TEL 03-5805-0264 FAX 03-5805-0265

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

#### 水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー(第58号以降)は、下記アドレスでご覧になれます。

バックナンバー一覧 <https://www.jwrc-net.or.jp/publication-outreach/hotnews/>

#### 水道ホットニュースの引用・転載について

水道ホットニュースの引用・転載等を希望される方は、上記ホットニュース担当までご連絡をお願いいたします。なお、個別の企業・商品・技術等の広告にはご利用いただけません。